

7月7日は七夕の日。“七夕”に関する調査大発表！

～元恋人は運命のヒト！？～

久しぶりに再会した昔の恋人と「よりを戻した」人は5人に1人も
さらに「結婚」した人は約3割という結果に！

～プチ遠距離恋愛は結婚への近道？～

遠距離恋愛から1～2年で結婚に至った人は63.0%！
“離れた時間が愛を育てる”はホントだった！

—銀座ダイヤモンドシライシ「七夕に関する意識調査」発表—

日本最大級の成約数を誇り、全国に35店舗を展開する、ブライダルダイヤモンド専門店の銀座ダイヤモンドシライシ(運営:株式会社シーマ、東京都中央区、代表:白石勝代)は、25歳～40歳の男女500名を対象にインターネットによる『七夕に関する意識調査』を2014年5月に実施し、その結果を発表致します。

【調査背景】

銀座ダイヤモンドシライシではプロポーズや入籍が増える7月7日の七夕の日を前に、織姫と彦星の七夕伝説に関連して、再会婚や遠距離恋愛に関する調査を実施致しました。

【調査結果サマリー】

①元恋人は運命のヒト！？「久々に再会した昔の恋人とよりを戻した」人は約5人に1人(19.8%)！

結婚まで至った人は約3割も(33.3%)！

また、再会から結婚までは1年以上3年未満が39.4%、1年未満が33.3%と、短期間で結婚に至っているケースが多く、5年以上ぶりの再会で結婚した人は約2割に上った(18.2%)。

元恋人に会いたいと思っている人は36.8%という結果も。

②七夕といえば遠距離恋愛の伝説、織姫と彦星。現代の遠距離カップルの実態とは。

【実態1】遠距離恋愛になった理由1位は、「転勤」(54.8%)。

織姫と彦星のように親に反対されて距離を離されてしまったという悲運な夫婦・カップルも(3.2%)。

【実態2】近くに住んでいる夫婦・カップルを羨ましく思っている人は43.5%。一方で「大変そう」と感じている人が約3割(29.0%)。

【実態3】遠距離によって愛が深まったと答えた人は43.5%。また、2年以内に結婚に至った人が63%と、期間が短い方が結婚確率が高くなることが判明。

現在遠距離恋愛をしている人の中で“会いたくてふるえた”ことがある人は33.9%という結果も。

【実態4】遠距離の期間、耐えられるのは「1年まで」が40%。「長くても3年まで」と答えた人が92%という結果に。

③最新の入籍事情！大切なのは2人にとって覚えやすく、都合がいい日！

入籍日を選んだ理由は、第1位が「大安の日」(14.3%)、以下は「2人の出会いの日」(12.7%)、「彼女の誕生日」(7%)と続いた。クリスマスイヴ(1.0%)、七夕(2.7%)、良い夫婦の日(3.0%)などはいずれも3%以下となり、ロマンチックなイベントの日を選ぶカップルが少ないことが判明。また、「その他」は46.3%に上り、中には3/14「円周率＝永遠に続くから」、8/8「八＝未広がりだから」など、こだわり派も多く見られた。

④プロポーズを待つ女性に朗報！？増税後婚約指輪の予算を下げた人はわずか 3.8%！

「増税後に婚約指輪の予算を下げましたか」という質問に対して、下げたと回答した人はわずか 3.8%。予算を下げていない人は 42.3%で増税前に指輪を購入したという人は 36.5%であった。女性が抱きがちな、増税後の結婚指輪の予算に対する心配は不要のようだ。

**本リリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「銀座ダイヤモンドシライシ調べ」と明記ください。
※本リリースに記載していない調査結果もございます。詳細は下記までお問い合わせください。**

【調査概要】

成人女性に関する意識調査

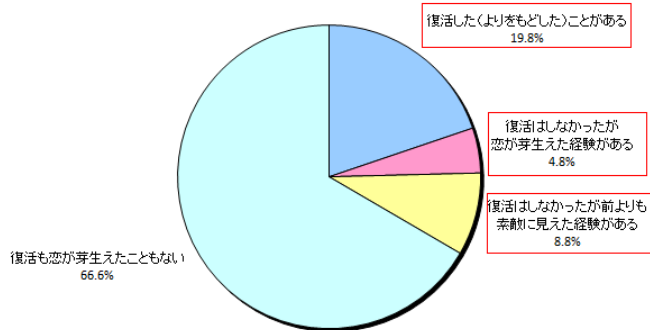
- ・調査方法 : インターネットアンケート
- ・調査実施機関 : 株式会社ネオマーケティング
- ・調査実施期間 : 2014年5月9日(金)～2014年5月12日(月)
- ・対象地域 : 全国
- ・対象者 : 25歳～40歳 男女 500名(既婚男性・女性 20代 各 75名/既婚男性・女性 30代各 75名
未婚男性・女性 20代 各 50名/未婚男性・女性 30代 各 50名)

①元恋人は運命のヒト！？「久々に再会した昔の恋人とよりを戻した」人は約 5 人に 1 人 (19.8%)！ 結婚まで至った人は約 3 割も (33.3%)！

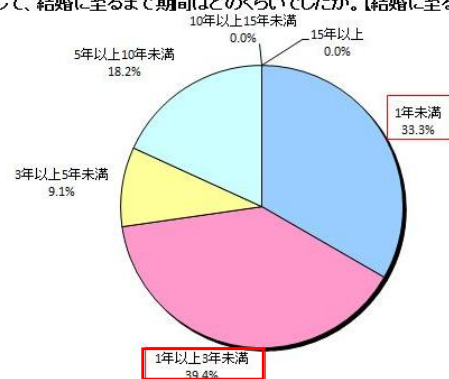
「あなたは久しぶりに再会した昔の恋人と愛が復活したことはありますか。」という質問に対し、「復活した(よりを戻した)」と答えた人は 19.8%と、約 5 人に 1 人という結果になった。また、復活はしなかったが「恋が芽生えた」人は 4.8%、「前よりも素敵に見えた」経験があると答えた人は 8.8%であった。

また、再会婚をした人の中には、「5年以上 10年未満」の再会を経て結婚した人が約 2 割(18.2%)もいることが判明した。1番多かったのは 1年以上 3年未満の再会で 39.4%、1年未満の再会が 33.3%。まだ再会は叶っていないが、元恋人に会いたいと思っている人は 36.8%という結果も。

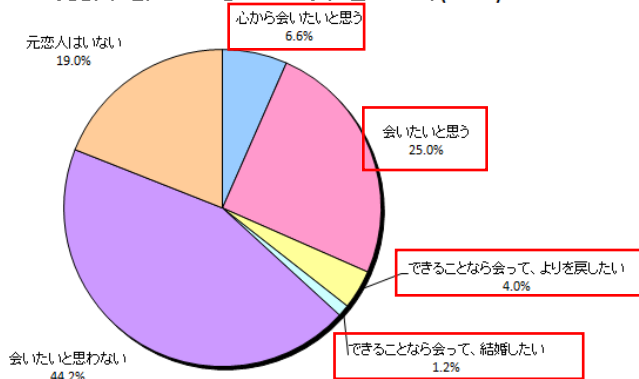
Q1.あなたは久しぶりに再会した昔の恋人と愛が復活したことはありますか。(お答えは1つ)(N=500)



Q3-2.あなたは何年ぶりに再会した相手と結婚をしましたか。また再会して、結婚に至るまで期間はどのくらいでしたか。【結婚に至るまでの期間】(N=33)



Q21.あなたは元恋人に会いたいと思いますか。(お答えは1つ)(N=500)



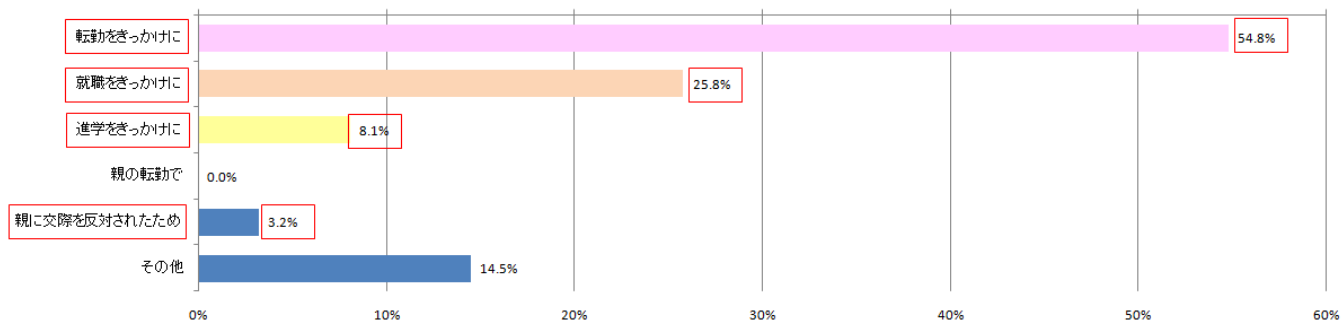
＜本件に関する報道関係者 お問い合わせ＞
銀座ダイヤモンドシライシ PR 事務局
TEL:03-5572-6316/ FAX:03-5572-6065

②七夕といえば遠距離愛の伝説、織姫と彦星。現代の遠距離カップルの実態とは。

【実態 1】遠距離愛になった理由

第1位は、「転勤」(54.8%)。続いて、「就職」(25.8%)、「進学」(8.1%)をきっかけに遠距離愛になったという答えが続いた。また、織姫と彦星のように親に反対されて距離を離されてしまったという悲運な夫婦・カップルも(3.2%)。

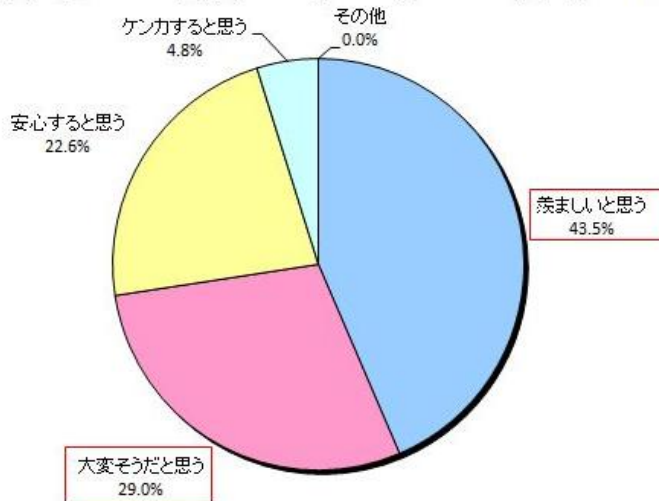
Q6. 遠距離結婚、遠距離恋愛をするようになった理由を教えてください。(お答えはいくつでも)
(N=62)



【実態 2】遠距離カップルが思う、近くに住んでいるカップル像

「一緒(近く)に住んでいる夫婦やカップルをどう思いますか。」という質問に対し、羨ましいと思っている人は全体の半数近くの43.5%。一方で「大変そう」と感じている人が約3割(29.0%)という結果に。

Q8. 一緒(近く)に住んでいる夫婦やカップルをどう思いますか。(お答えは1つ)(N=62)



<本件に関する報道関係者 お問い合わせ>

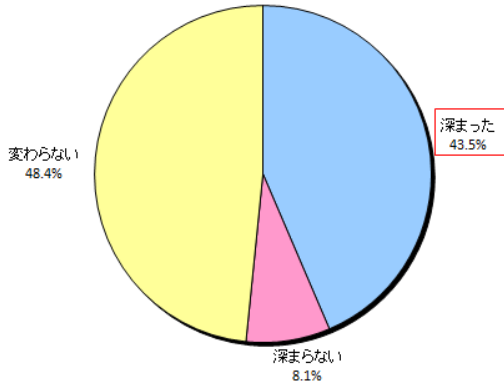
銀座ダイヤモンドシライシ PR 事務局

TEL: 03-5572-6316/ FAX: 03-5572-6065

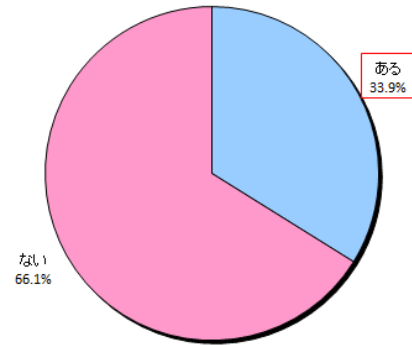
【実態 3】遠距離をした結果

遠距離によって愛が深まったと答えた人は 43.5%。また、2 年以内に結婚に至った人が 63%と、期間が短い方が結婚確率が高くなることが判明。また現在遠距離恋愛をしている人の中で“会いたくてふるえた”ことがある人は 33.9%も。

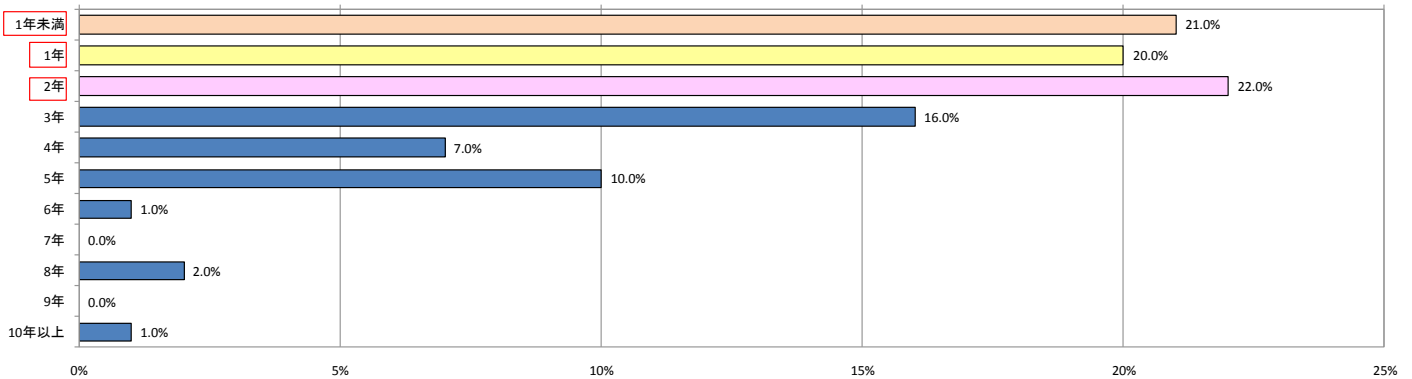
Q10.遠距離によって愛は深まりましたか。(お答えは1つ)(N=62)



Q9-2.あなたは会いたくて震えたことはありますか。(お答えは1つ)(N=62)



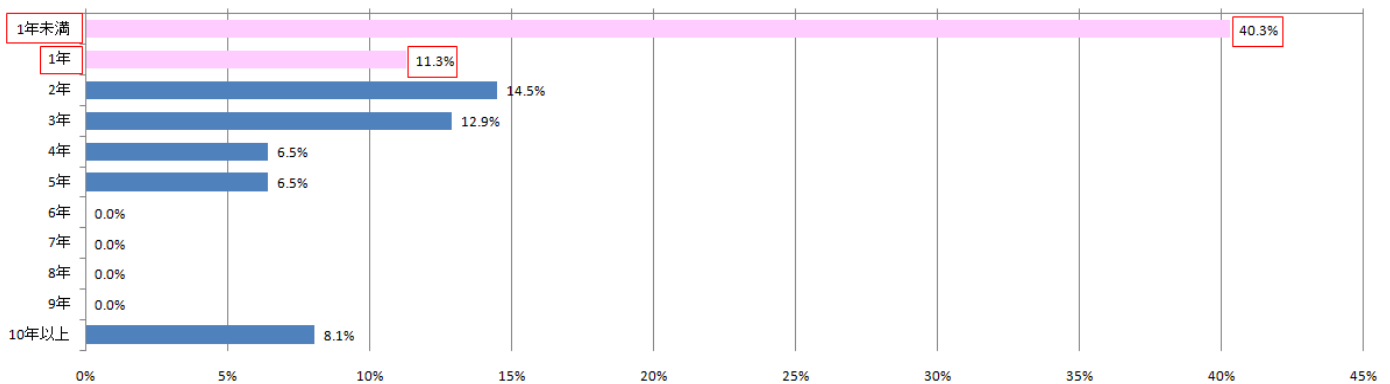
Q.あなたは遠距離恋愛から何年目で結婚に至りましたか。(お答えは1つ)(N=100)



【実態 4】遠距離に耐えられる期間は？

遠距離の期間、耐えられるのは「1年まで」が 40%。「長くても 3 年まで」と答えた人が 92%という結果に。

Q7-2.何年間遠距離状態ですか。また遠距離には何年耐えられますか。【遠距離に耐えられる期間】(N=62)



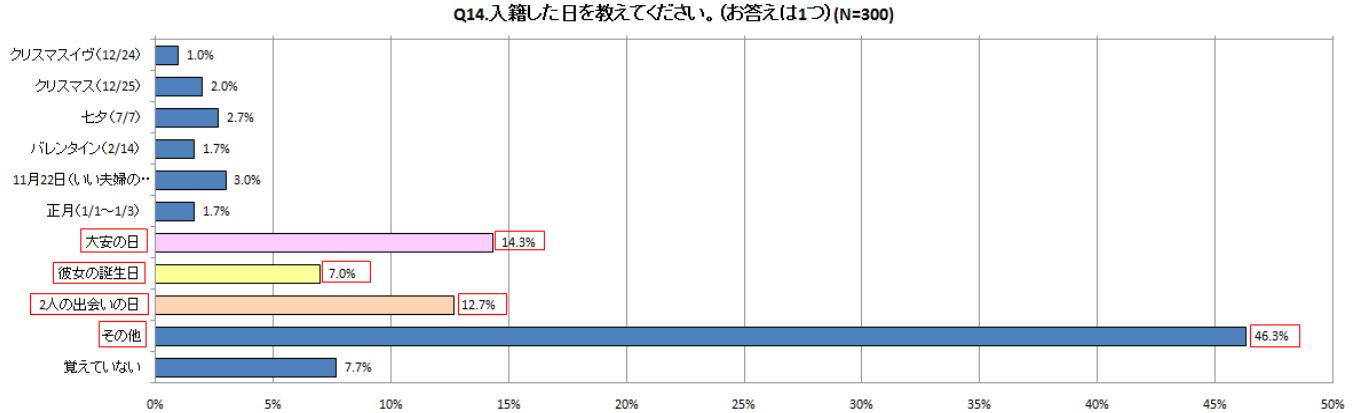
<本件に関する報道関係者 お問い合わせ>

銀座ダイヤモンドシライシ PR 事務局

TEL:03-5572-6316/ FAX:03-5572-6065

③最新の入籍事情！大切なのは2人にとって覚えやすく、都合がいい日！

入籍日を選んだ理由は、第1位が「大安の日」(14.3%)、以下「2人の出会いの日」(12.7%)、彼女の誕生日(7%)と続いた。クリスマスイヴ(12/24)は1.0%、七夕(7/7)は2.7%、いい夫婦の日(11/22)は3.0%と、入籍するカップルが多そうな、ロマンチックなイベントの日を選ぶカップルが少ないことが判明。また、その他は46.3%に上り、中には3/14「円周率＝永遠に続くから」、8/8「八＝末広がりだから」など、こだわり派も多く見られた。



④プロポーズを待つ女性に朗報！？増税後婚約指輪の予算を下げた人はわずか3.8%！

「増税後に婚約指輪の予算を下げましたか。」という質問に対して、下げたと回答した人はわずか3.8%。予算を下げていない人は42.3%で増税前に指輪を購入したという人は36.5%であった。女性が抱きがちな、増税後の結婚指輪の予算に対する心配は不要のようだ。

Q18.増税後に婚約指輪の予算を下げましたか。(お答えは1つ)(N=52)

